



平成 27年5月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ソ ケ ッ ツ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 兼 社 長 執 行 役 員 浦 部 浩 司  
(コード番号:3634 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 経 営 管 理 部 長 宮 木 公 平  
( TEL. 03-5785-5518)

**連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)**  
**子会社株式評価損(特別損失)の計上及び個別業績予想と実績との差異**  
**並びに吸収合併に伴う連結決算から個別決算への移行に関するお知らせ**

当社は、平成 27 年5月8日開催の取締役会において、株式会社 T.C.FACTORY との吸収合併について以下のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本合併は、100%連結子会社の吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

また、平成 27 年3月期個別財務諸表において、本子会社株式を減損処理し、子会社株式評価損(特別損失)を計上いたしました。この結果、平成 26 年 10 月 28 日付「営業費用(受注損失引当金)の計上、特別損失(構造改革費)の発生見込み及び業績予想、配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 27 年3月期個別業績予想と本日公表「平成 27 年3月期決算短信[日本基準](連結)」の実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。なお、本合併に伴い平成 28 年3月期においては、連結決算から個別決算へ移行する予定となりますのであわせて下記のとおりお知らせいたします。

**記**

**1. 合併の目的**

株式会社T.C.FACTORY(以下「TCF」といいます。)は、人名データベースを保有しております。当社の音楽、映像、書籍及びクロスメディアデータベースとの親和性は高く、特に人名から作品をつなぐことで作品との新しい出会いや気づきをもたらします。今回、合併により、データベースを統一し、データベースサービスの品質向上及び企画提案を強化し、かつ、今後の新しいサービスの創出も目指して参ります。また、データベースにおけるデータ入力作業等を中心に各ノウハウを統合することでコスト削減等も図って参ります。

**2. 合併の要旨**

**(1) 合併の日程**

合併契約承認取締役会	平成 27 年5月8日
合併契約締結	平成 27 年5月8日
合併(効力発生日)	平成 27 年 10 月1日(予定)

本合併は、当社において会社法第 796 条第2項に定める簡易合併であり、TCF においては、会社法第 784 条第1項に定める略式合併であるため、いずれも合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

## (2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併で、TCF は解散いたします。

## (3) 合併に係る割当ての内容

当社は、TCF の全株式を所有しており、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いは行いません。

## (4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取り扱い

該当事項はありません。

## 3. 合併の当事会社の概要(平成27年3月31日現在)

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 名称	株式会社ソケット	株式会社 T.C.FACTORY
(2) 所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-23-5 JPR千駄ヶ谷ビル3F	同左
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役兼社長執行役員 浦部 浩司	代表取締役 長 俊広
(4) 事業内容	インターネットを活用したサービス、アプリケーション、データベースの開発・提供	同左
(5) 資本金	496 百万円	184 百万円
(6) 設立年月日	平成 12 年6月 23 日	平成 19 年6月 27 日
(7) 発行済株式数	2,458,000 株	6,260 株
(8) 決算期	3月 31 日	3月 31 日
(9) 大株主及び特殊比率	浦部 浩司 30.96% KDDI株式会社 9.76% カルチュア・コンビニエンスクラブ株式会社 9.76%	株式会社ソケット 100%
(10) 直前年度の経営成績及び財政状態(平成27年3月期)		
決算期	平成27年3月期(連結)	平成27年3月期
純資産	902 百万円	65 百万円
総資産	1,747 百万円	72 百万円
1株当たり純資産	363.27 円	10,390.81 円
売上高	1,830 百万円	131 百万円
営業利益	△443 百万円	△18 百万円
経常利益	△440 百万円	△18 百万円
当期純利益	△514 百万円	△27 百万円
1株当たり当期純利益	△212.76 円	△4,452.49 円

## 4. 合併後の状況

当社の名称、所在地、代表者、事業内容、資本金の額及び決算期に変更はございません。

## 5. 前期業績及び今後の見通し

### (1) 平成27年3月期 業績

#### ① 子会社株式評価損(特別損失)の計上

TCF 株式会社については、同社の純資産の状況や収益状況などを勘案し、吸収合併までの短期間において、同株式に係る当社の帳簿価額への回復が見込めないことから、個別財務諸表に特別損失として子会社株式評価損 49 百万円を計上いたしました。なお、当該子会社株式評価損は、連結財務諸表上では消去されるため、連結損益に与える影響はありませんが、当該子会社株式の評価損に伴いのれんの一括償却 13 百万円を特別損失に計上しております。

#### ② 平成27年3月期 業績予想値と実績値の差異

(i) 平成27年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年10月28日発表)	百万円 2,000	百万円 △380	百万円 △379	百万円 △439	円 銭 △182.43
実績値(B)	1,830	△443	△440	△514	△212.76
増減額(B-A)	△169	△63	△61	△75	△30.33
増減率(%)	△8.5	△16.7	△16.3	△17.1	—
(参考)前期実績 (平成26年3月期)	2,197	△131	△135	△758	△322.58

(注) △はそれぞれ営業損失、経常損失、当期純損失及び1株当たり当期純損失となります。

(ii) 平成27年3月期通期個別業績予想値と実績の差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年10月28日発表)	百万円 1,980	百万円 △345	百万円 △400	円 銭 △166.23
実績値(B)	1,801	△426	△536	△222.04
増減額(B-A)	△178	△81	△136	55.81
増減率(%)	△9.0	△23.7	△34.1	—
(参考)前期実績 (平成26年3月期)	2,121	△126	△743	△316.13

(注) △はそれぞれ経常損失、当期純損失及び1株当たり当期純損失となります。

#### (iii) 差異が生じた理由

個別財務諸表において子会社株式評価損(特別損失)49百万円の計上に伴い公表している計画に対して、当期純損失が開示基準を下回ることとなりました。

また、予定通りに構造改革(①人員の見直し、②事務所スペースの見直し、③外注費等の削減)を実施し、第4四半期会計期間の業績は、回復傾向でありましたが、重要パートナーとの統合データベース開発の大幅な遅延により関連新規プロジェクト等が期中に確定しなかったため、売上高、営業損失及び経常損失が計画を下回りました。

平成28年3月期の来期については、再来期に飛躍できるような反転攻勢の元年として位置付けております。構造改革による固定費削減の効果を発揮させつつ、引き続き外注費用の削減とデータベースのブラッシュアップに取り組み、足場固めを行って参ります。一方で、コストコントロールをしながら、R&Dを通して、将来の収益の種まきも行って参ります。

## (2)平成 28 年3月期 業績予想

### ①連結決算から単体決算への移行について

平成 28 年3月期の業績予想については、TCF の吸収合併に伴い連結決算から個別決算へと移行する予定であります。そのため、「平成 27 年3月期 決算短信[日本基準](連結)」に掲載しております「平成 28 年3月期の業績予想」については、個別のみの公表とさせていただきます。

なお、グループ再編に伴い、今後のグループ戦略については、ビジネス進捗及び展開等を踏まえて体制を検討して参ります。

### ②抱合わせ株式消滅差損(特別損失)の発生見込み

合併に伴い個別財務諸表において抱合わせ株式消滅差損(特別損失)が発生する見込みであります。そのため、平成28年3月期業績予想につきましては、特別損失として13百万円を織り込んでおります。今後、開示の必要が発生した場合は、適宜、速やかに公表させていただきます。

なお、本資料に関する詳細につきましては、同日付で公表しております「平成 27 年3月期 決算短信[日本基準](連結)」及び「2015 年3月期決算補足資料」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上